

懐かしの吉田メロディーで魅了 ヒマナスターズが茶釜の湯で演奏

日立製作所のOB 7人で活動するアマチュアバンド、ヒマナスターズが12月15日、通所リハビリセンター「茶釜の湯」でコンサートを開きました。コンサートは、今年2月に続いて2度目。ヒマナスターズの「夜霧の空の終着港(エアターミナル)」で幕開けし、吉田正メロディーなど3部構成で演奏。茶釜の湯やヒューマン・ハウスなどの利用者、地域の人たちが駆け付けて、懐かしのメロディーを堪能しました。

ヒマナスターズは、日立製作所の井出英雄さんら同期入社7人で活動するバンドで、50数年前に結成。仕事や転勤などで活動を休止していましたが、10年ほど前に再結成し、吉田正の名曲やムード歌謡を中心にバンド活動を行っています。

コンサートは、「有楽町で逢いましょう」、「東京ナイトクラブ」などの吉田正メロディーを披露。第2部ではスライドで歌詞を映し、会場と一緒に「青い山脈」や「母さんの歌」「ジングルベル」「見上げてごらん夜の星を」などの懐かしい歌を歌いました。第3部は「東京の人」「いつでも夢を」などの吉田正メロディーを演奏。アンコールに応え、「北国の春」「星影のワルツ」を演奏し、会場から大きな拍手が鳴り響きました。

平成30年12月17日

